



## 2 専用命令による相互排除

次のような二つの機械語命令がある。(以下で  $z$  はゼロフラグの意味とする。) マルチプロセッサシステムでも使用できる相互排除の仕組みをリスト 1 に示す。

### TS (Test and Set) 命令

TS R,M

1. バスをロックする
2.  $R \leftarrow [M]$
3. if ( $R=0$ )  $z \leftarrow 1$ ; else  $z \leftarrow 0$ ;
4.  $[M] \leftarrow 1$
5. バスのロックを解除する

### SW (Swap) 命令

SW R,M

1. バスをロックする
2.  $T \leftarrow [M]$
3.  $[M] \leftarrow R$
4.  $R \leftarrow T$
5. バスのロックを解除する

### リスト 1: TS 命令を用いた相互排除

```
// エントリーセクション
L1      DI
        TS      G0, FLG
        JZ      L2
        EI
        JMP     L1

// クリティカルセクション
L2      ...

// エグジットセクション
        LD      G0, #0
        ST      G0, FLG
        EI

// 非クリティカルセクション
        ...

// 初期値ゼロフラグ
FLG     DC      0
```

1. TeC 風の命令が使用できるものとし、リスト 1 のエントリーセクションを SW 命令を用いて書き換えなさい。(ヒント: CMP 命令はレジスタとメモリの値を比較する) (5 点)

```
L1      DI
        LD      G0, #1
        SW      G0, FLG
        CMP     G0, #0
        JZ      L2
        EI
        JMP     L1
```

2. TeC 風の命令が使用できるものとし、リスト 1 のエントリーセクションを CAS 命令を用いて書き換えなさい。但し、CAS 命令は次のような命令とする。(5 点)

CAS (Compare And Swap) 命令

CAS R0,R1,M

- (a) バスをロックする
- (b)  $T \leftarrow [M]$
- (c) if ( $T == R0$ ) {  $[M] \leftarrow R1$ ;  $z \leftarrow 1$ ; } else {  $R0 \leftarrow T$ ;  $z \leftarrow 0$ ; }
- (d) バスのロックを解除する

```
L1      DI
          LD      G0, #0
          LD      G1, #1
          CAS     G0, G1, FLG
          JZ      L2
          EI
          JMP     L1
```

3. なぜクリティカルセクションを割込みを禁止で実行する必要があるか説明しなさい。(5 点)

- クリティカルセクションで何が発生しないようにしているか？  
プリエンプションの発生を防いでいる。
- それが発生すると次に何が起こる可能性があるか？  
プリエンプションが発生し優先度の高いプロセスに実行が切り替った場合、優先度の高いプロセスがエントリーセクションでビジーウェイティングを始めることがある。
- 最終的にどのような状態になる可能性があるのか？  
その場合、プリエンプションした優先度の低いプロセスに実行が移らず、デッドロックになる可能性がある。

### 3 セマフォによる相互排除

複数のプロセスが変数 `val` の値をインクリメント・デクリメントする場合に、正しく処理ができるようにセマフォを用いた相互排除を行った例を示します。

```
int      val;
Semaphore S;
void inc() {
    (a)
    val++;
    (b)
}
void dec() {
    (c)
    val--;
    (d)
}
```

1. セマフォ (S) の初期値はいくつにするべきか? (3 点)

1

2. プログラム中、(a)、(b)、(c)、(d) に適切なセマフォ操作を答えなさい。ただし、セマフォの操作は  $P(S)$ 、 $V(S)$  のように書くことにします。(3 点×4 問=12 点)

(a)	$P(S);$	(b)	$V(S);$
(c)	$P(S);$	(d)	$V(S);$

### 4 セマフォの使用順序

三つの資源 A、B、C から二つを使用する三つのプロセス  $P_1$ 、 $P_2$ 、 $P_3$  がある。三つの資源それぞれに資源利用の相互排除を行うためのセマフォ  $S_a$ 、 $S_b$ 、 $S_c$  がある。

$P_1$

```
1:P(Sa);
2:P(Sb);
3:資源 A、B を使用する
4:V(Sb);
5:V(Sa);
```

$P_2$

```
1:P(Sb);
2:P(Sc);
3:資源 B、C を使用する
4:V(Sc);
5:V(Sb);
```

$P_3$

```
1:P(Sc);
2:P(Sa);
3:資源 C、A を使用する
4:V(Sa);
5:V(Sc);
```

1. 三つのプロセスが同時に 1:行を実行した場合、何が発生するか? (4 点)

デッドロック

2.  $P_1$ 、 $P_2$ 、 $P_3$  で、1 と同様なことが発生する実行順を示しなさい (ない場合も含む)。(4 点)

他にはない

3. 1 が発生しないような  $P_1$ 、 $P_2$ 、 $P_3$  の改良例を一つ答えなさい。(4 点)

$P_3$  の 1 行と 2 行の内容を入れ替え、セマフォの確保順を  $S_a \rightarrow S_b \rightarrow S_c$  に統一する。

## 5 セマフォによるリーダライタ問題

次は C 言語風の言語で記述した、リーダライタ問題のセマフォによる解を示しています。

```
Data      records;           // 共有するデータ
Semaphore rwSem;             // リーダとライタの排他用セマフォ
void writerThread() {        // ライタスレッド(複数のスレッドで並列実行する)
    for ( ; ; ) {
        Data d = produce();   // 新しいデータを作る
        _(a)_;
        writeRecores( d );    // データを書換える
        _(b)_;
    }
}

int      cnt = 0;             // リーダ間の共有変数(読出し中のリーダ数)
Semaphore cntSem;             // cnt の排他制御用セマフォ
void readerThread() {        // リータスレッド(複数のスレッドで並列実行する)
    for ( ; ; ) {            // リーダスレッドは以下を繰り返す
        _(c)_;
        if ( cnt == 0 ) _(d)_;
        cnt = cnt + 1;        // cnt をインクリメント
        _(e)_;
        Data d = readRecords(); // データを読みだす
        _(f)_;
        cnt = cnt - 1;        // cnt をデクリメント
        if ( cnt == 0 ) _(g)_;
        _(h)_;
        consume( d );        // データを使用する
    }
}
```

1. プログラム中の\_(a) \_から\_(h) \_に適切なセマフォ操作を答えなさい。(2 点× 8 問=16 点)

(a)	P(rwSem);	(b)	V(rwSem);
(c)	P(cntSem);	(d)	P(rwSem);
(e)	V(cntSem);	(f)	P(cntSem);
(g)	V(rwSem);	(h)	V(cntSem);

2. 二つのセマフォの初期値はそれぞれいくつにすべきか答えなさい。(2 点× 2 問=4 点)

rwSem	1	cntSem	1
-------	---	--------	---

## 6 モニタによるセマフォ実装

次は授業で紹介した仮想言語のモニタを用いてセマフォを実現した例です。条件変数には `c.wait()` と `c.signal()` の操作ができるものします。

```
1 monitor Semaphore {
2     int val;           // セマフォの値
3     Condition c;       // 条件変数
4     int cnt;           // 待ちプロセス数
5     // 初期化プログラム
6     Semaphore(int n) {
7         val = n;
8         cnt = 0;
9     }
10    // P 操作
11    public void P() { // ガードに守られる
12        if (_(a)_){
13            val--;
14        } else {
15            _(b)_;
16            c.wait();
17            cnt--;
18        }
19    }
20    // V 操作
21    public void V() { // ガードに守られる
22        if (_(c)_){
23            val++;
24        } else {
25            c.signal();
26        }
27    }
28 }
```

1. プログラム中 `_(a)_` から `_(c)_` に適切なプログラムを答えなさい。(3 点 × 3 問 = 9 点)

(a)	<code>val &gt; 0</code>
(b)	<code>cnt = cnt + 1</code>
(c)	<code>cnt &lt;= 0</code>

2. 一つ目のプロセスが `P()` を実行し 16 行の `wait()` でブロックしたとき、二つ目のプロセスが `V()` を実行し 25 行の `signal()` を実行した。17、18、26 行の実行順を答えなさい。(4 点)

17行 → 18行 → 26行の順  
に実行される。